**「南河内農とみどりのミュージアム」（平成30年３月改正）に基づく平成30年度の取組**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 平成30年度取組 | ○：実　施×：未実施 |
| １　地域力アップに向けた府民協働の推進 | 1. 棚田保全等に向けた支援組織の育成・強化

・棚田ボランティア組織の育成・強化・援農組織の支援 | ○[棚田・ふるさと保全活動支援](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/k_jyuku-owner.html) | 生産条件の不利な棚田において農家と地域住民が協力して行う保全のための活動を支援棚田での米づくりを学び、地元農家とともに棚田での農業をする人材を育てる大人の棚田塾の活動に対する支援棚田ファンクラブに登録している府民ボランティアや棚田オーナー制度の会員などを呼び込んで棚田保全活動を行うとともに都市住民と地元農家の交流を促進また、ｸﾗｳﾄﾞﾌｧﾝﾃﾞｲﾝｸﾞの支援による獣害柵設置などの棚田保全活動を実施 | 〇 |
| ○[多面的機能支払事業を活用した農空間保全活動支援](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/k_tamentekishiharai.html)・[どじょうプロジェクト](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/k_dojoup.html) | 地元農家と地域住民、ＮＰＯ、学校等多様な担い手が協力して行う農空間保全活動を支援また、河内長野市におけるドジョウプロジェクト(休耕田を利用したドジョウ生育)の実証実験とりまとめ。 | 〇 |
| ○[農空間づくりプラン事業を活用した地域活動の支援](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/k_dukuriplan_uresi.html) | 活動区域内の農家や地域住民などが協力して策定した計画に基づく農空間保全活動を支援 | 〇 |
| ○「太子町ふどう塾」開催 | 太子町においてぶどう園の遊休農地化を防ぐため、H12年から農の普及課と太子町、大阪南農協が連携して「ぶどう塾」を開催。H２５年には散在するボランティアグループを一つの組織としてまとめ、ＮＰＯ法人「太子町ぶどう塾」が発足し、援農活動を強化。昨年度からＮＰＯが主体となり、「太子町ぶどう塾」を開催。その中で座学について農の普及課が担当（ぶどう塾1２回、うち座学２回）。 | 〇 |
| ②地域特性を活かした持続可能な地域保全の推進・生物の多様性に配慮した保全活動の推進、援農受け入れ体制の整備等・いちご、ぶどう、難波葱など、地域特産品の振興による地域の保全・活性化 | ○[大阪府アドプトフォレスト制度の活動支援](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/r_adopt.html) | 地球温暖化防止や生物多様性確保のため、大阪府が企業等の事業者と森林所有者の仲人となり、事業者が間伐や植樹、下草刈りなど森づくりの活動を実施。タカシマヤ一粒のぶどう基金、三洋商事株式会社、有限会社憩暖、ＮＴＮ株式会社・株式会社ＮＴＮ金剛製作所、ＪＸＴＧエネルギー株式会社、公益財団法人ニッセイ緑の財団による森づくり活動を支援（１０回実施予定：内訳みどり環境課６回、地域政策室３回）。 | 〇 |
| ○ため池環境コミュニティ活動等への支援（狭山副池、伊賀今池、下印池） | ため池、水路など貴重な水辺環境となっている農業用施設を守り、活かし、学ぶための地域活動を支援 | 〇 |
| ○[高収益を目指す南河内戦略作物「イチゴ」を活用した「南河内いちごの楽園プロジェクト」](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/f_ichigonorakuenn.html) | 新規就農者の育成・確保によりいちごを産地化及び地域の魅力づくりを行った。・次世代人材を育成する、実践型農業塾「いちごアカデミー」の開催・大都市らしい販売戦略の展開支援（ブランドいちご「ちはや姫」の本格販売、商標登録申請）・いちごアイテムの開発支援 | 〇 |
| ○「ぶどう山再生プロジェクト」 | 大阪府「戦略作物」であるぶどうの生産振興を図るため、①農道の整備に向けたアンケート調査や地元との調整、②担い手への農地集積、③最先端技術（高品質化・省力化）の導入、④大粒系品種の導入促進、⑤トップリーダーの育成、⑥新規就農者の確保、⑦[シャインマスカットのブランド化](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/shinemuscat.html)に向けた取組を行った。 | 〇 |
| ○「難波葱プロジェクト」 | なにわの伝統野菜「難波葱」の生産安定、認知度向上を図り、新たな特産品化を図った。・難波葱の長期安定生産技術の確立及び普及による生産量の増加・[難波葱フェスタ開催によるＰＲ](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/f_nannbanegi2.html) | 〇 |
| ③多様な主体の連携による取り組みの推進・農産物の直売や棚田のライトアップ等・滝畑ダムと市町村、地元酒造メーカーが連携した地酒の熟成 | ○[「金剛山の里　棚田夢灯り＆収穫祭」の開催（下赤阪）](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/h30-yumeakari.html) | 多様な団体、地域住民、府民が連携して、灯ろうによる棚田のライトアップ、地元農産物・特産物を販売する収穫祭を開催11/1０に開催。 | 〇 |
| ○滝畑ダムと地元酒造メーカーが連携した地酒熟成検証の実施 | 滝畑ダムを活用し、観光資源の一つとなる地酒の熟成について、引き続き民間企業と連携・協力。 | 〇 |
| ○農空間保全活動の支援（河南町かうち地区） | 地域の農家・住民・専門学校生等が協力して策定した計画に基づく農空間保全活動を支援 | 〇 |
| ○農空間なっとく出張教室の実施 | 身近にある農空間で子供たちが学び、活動する取り組みを支援 | 〇 |
| ○ 朝市祭「みな・さんマルシェ」開催 | 南河内管内の朝市・直売所が、品揃えの充実や品質向上等の共通した課題解決や相互連携によるＰＲを図るため、平成15年に南河内産直ネット（み・な・さ・んネット）を組織。・直売所紹介マップの作成及びPR | ○ |
| ○「南河内ほわ～っと流域ネットワーク」の活動支援 | 石川流域での活動の共有・協力をすすめ、自然と人の共生を可能にする流域の暮らしと文化を創造するため、水辺の生き物水族館、流域秋のこどもまつりなどの実施を支援 | ○ |
| ○石川河川公園「地域とつながり成長する」協議会への参加 | 石川河川公園の快適で安全な利用の促進を図るとともに、公園の利用促進を契機とした地域活性化へ寄与するため、地域の歴史・文化観光資源の紹介や地元イベントその他情報の共有・照会、共同イベント等の企画・実施・広報活動等を協議 | ○ |
| ○森林環境学習 | 継続的に森林環境学習を実施している小学校の５年生を対象に、間伐や木工体験を開催することにより、地域の森林・林業・木材についての理解を深める支援を行った。 | ○ |
| ２　ストックのネットワーク強化 | 1. ストック間の連携強化

・地域資源を活用し、地域・農林業活性化を図るためのスタンプラリー等の実施・奈良・和歌山県との連携によるダイヤモンドトレールを軸とした周辺ストックの利活用の推進・各市町村等で設定したハイキングコースを集約し、情報発信 | ○[南河内「大阪産（もん）めぐり」スタンプラリーの開催](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/megurikekka2018.html) | 南河内の農林水産物等に親しんでもらうため、南河内「大阪産（もん）めぐり」実行委員会の構成員として、大阪産（もん）を扱う農産物直売所や飲食店、農林関係施設等をめぐるスタンプラリーを開催 | ○ |
| ○[ダイヤモンドトレールポイントラリーの開催](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/t_daitoresekiban.html) | ダイヤモンドトレール活性化実行委員会として、ダイヤモンドトレール及びそのアクセスルートを活用したポイントラリーを開催・ダイヤモンドトレール縦走石板めぐり・ダイヤモンドトレール周遊めぐり | ○ |
| ○ダイトレ・ウォークの開催 | ダイヤモンドトレール活性化実行委員会で、ダイヤモンドトレールを歩く1日イベントを開催。今年は滝畑ダムから岩湧山を通って紀見峠駅までのコースで実施。 | ○ |
| ○[各市町村等で設定したハイキングコースを集約し、情報提供](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/r_daitore.html) | 府のダイヤモンドトレール情報のHPを充実させ、ダイトレポータルサイトとして情報発信。また、Facebookでも情報を発信した。 | ○ |
| ②南河内グリーンロードを活用したネットワーク強化・南河内サイクルランとグリーンロードを活用したサイクリング利用の促進 | ○滝畑ダム周回道路の開設 | これまで、滝畑ダムでは右岸管理道路の車両、バイク乗り入れを禁止していたことから、自転車による滝畑ダム湖周遊はできなかったが、昨年度、河内長野市と協議し、自転車の周遊が出来るようになったので、今後一層のサイクリングの利用の促進をすすめた。 | 〇 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 平成30年度取組 | ○：実施×：未実施 |
| ３　情報アウトプットの強化 | 1. 事務所ＨＰを活用した一体的な情報発信

・ＨＰやブログの開設運営によるタイムリーな情報（旬の農産物、イベント等）の発信 | ○ＨＰによる旬の農産物やイベント、地域活動等の情報発信 | 事務所のHP（ホームページ）を活用し、南河内管内で生産される旬の農産物や農の情報、イベント、農空間の保全に関する地域の活動等を、幅広く情報発信 | ○ |
| ②多様な主体と連携した情報発信の強化・電鉄広報紙や、府企画観光課・大阪観光局、市町村観光協会等との連携による多様な媒体（SNSなど）を活用した広報の実施 | ○電鉄広報紙等を活用した広報の実施 | 電鉄広報紙、フリーペーパー等、民間の広報紙による情報発信を実施 | 〇 |
| ○多様な媒体(ﾌｪｲｽﾌﾞｯｸ、メールマガジン等)を活用した広報の実施 | 南河内の魅力を多くの人に知ってもらい、訪れてもらうため、府企画観光課・大阪観光局、市町村観光協会等、多様な主体と連携し、フェイスブックやメールマガジンや新聞・テレビ等、多様な媒体を活用した広報を実施 | 〇 |
| ③既存ストックを活用した情報発信・滝畑ダムを活用した学習イベントの開催 | ○[クール＆パワースポット「滝畑ダム探検」の開催](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/d_damtanken.html) | 盛夏でも約20℃の「ダム監査廊」探検や地域の歴史資源である「磨崖仏」の見学、ダムの役割を学習するイベントを開催（7回、各回２５名） | ○ |